

災害時における 情報収集・表示システムの構築

前野 誉¹、木野 一雄¹、森 健一¹、樫原 茂²、金田 茂³、高井 峰生⁴

1. 株式会社スペースタイムエンジニアリング、2. 奈良先端科学技術大学院大学

3. Space-Time Engineering, LLC.、4. University of California, Los Angeles

背景と目的

- ・ 自治体等における災害時の情報収集や共有方法は十分にシステム化されていない
- ・ ドローンやアクションカメラ、ハンディGPSなど、比較的安価で利便性の高い情報収集ツールが普及



- ・ 災害時において、より効率的、効果的かつ多岐に亘る情報収集・表示を提供するシステムが必要

ユースケースと機能要件

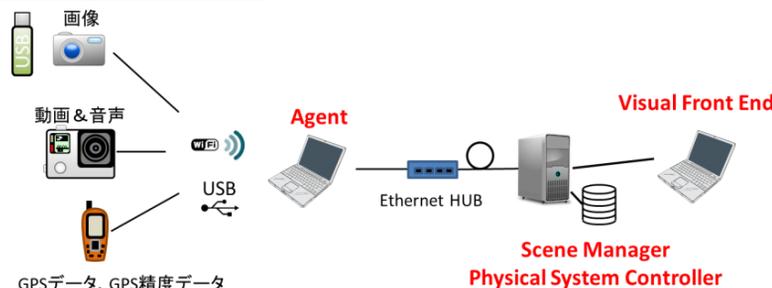


提案システムのユースケース

機能要件

- ・ 移動経路(GPSログ)の地図上への表示
- ・ 計測データの可視化と計測位置の地図上への表示
- ・ 計測データの自動アップロード
- ・ 表示コンテンツの時間やエリアによるフィルタリング
- ・ 遅延耐性ネットワーク環境への対応
- ・ GUI操作による計測ツールの設定

デモシステム概要



Scene Manager

- ・ 各計測機器から取得したデータの管理、解析

Physical System Controller/Agent

- ・ 計測機器の制御(機器設定、データ収集、転送)

Visual Front End

- ・ GUI、マルチメディアコンテンツ表示、3D地図表示

実現機能

- ・ 自動機器接続
- ・ マルチメディアコンテンツ自動取得
- ・ マルチメディアコンテンツ再生
- ・ 動画シーク
- ・ 3D表示

今後の展開

- ・ 災害時において効率的かつ効果的な情報収集・表示システムを構築(Scenargie3.0として商品化予定)
- ・ システムの高機能化(実機の制御、シーンデータのDTN対応等)
- ・ シミュレーション機能との連携(計測データのシミュレーションシナリオへの反映等)
- ・ 想定利用ユーザ(自治体等)からの各種要望の反映